



# NO!

# 薬物乱用

## 甘い誘いは勇気を持って断ろう!



覚醒剤や大麻などの薬物(ドラッグ)が社会に広がっています。薬物は乱用すると自分の意思ではやめられない依存症に陥り、精神と身体をむしばみます。特に最近、インターネットの普及などを背景に、子どもでも薬物を簡単に手に入れられる深刻な状況となっています。親は、「自分の子どもに限って…」と安易に考えるのは禁物です。

薬物の乱用を防ぐには、薬物の本当の怖さを知ることが第一です。本冊子で薬物について正しい知識を学び、その脅威から自分自身と周りの人たちを守りましょう。

### 薬物乱用についての相談先

[ 厚生労働省・薬物乱用防止相談窓口機関など ]

▶ インターネット

▶ 携帯電話 <http://mobile.mhlw.go.jp/index.html> ▶ リンク集 ▶ 薬物乱用防止相談窓口機関一覧のご案内

▶ 電話 ▶ 各都道府県の「精神保健福祉センター」「こころの健康センター」「こころの健康相談センター」「保健所」など

▶ 各都道府県の「薬務課」「医務薬務課」「薬事衛生課」「医薬安全課」など

▶ 各都道府県警察の「薬物対策担当係」

右記の機関を  
番号案内等  
でご確認ください。

# 薬物の怖さ

## ！薬物は心と身体を侵す魔物！

「薬物乱用」とは、社会のルールから外れた目的や方法で薬物を使うことです。「1回くらいなら大丈夫」と軽い気持ちで使うことも乱用です。友だちから「やせる薬」「元気がでる薬」などと誘われ使い続けるうちに、「やめたいと思っても、やめられない」という薬物依存症に陥ります。

薬物を乱用すると、脳の正常な発達は止まり、心のバランスが崩れ、主要臓器への悪影響により、最悪の場合、死にいたりします。また、幻覚や妄想などの症状が現れ、自殺を図ったり、殺人、放火事件、薬物代欲しさの強盗事件などの凶悪犯罪や重大な交通事故を引き起こすことがあるなど、本人だけでなく、家族や社会にも被害を及ぼしかねないものです。

## ！乱用される危険な薬物（カッコ内は俗称）

- 覚醒剤  
(エス、スピード、アイス、シャブ)



- 大麻・マリファナ  
(ハッパ、グラス、クサ、ヤサイ)



- MDMA  
(エクスタシー、バツ[X]、[罰])



- マジックマッシュルーム  
(キノコ、ホングレシトス)



- ケタミン  
(ケー[K]、スペシャルK)



- LSD  
(ペーパー、タブレット)



## 身近に潜む薬物問題

### ！ケータイ・インターネットからの誘いに乗らないように

アクセスの容易性、匿名性などから、不特定多数人に対する薬物の密売広告がインターネットに掲載されています。手口は、ネットの掲示板に「SO.2g1万」などと掲載し、メールなどで連絡を取り取引するものです。

- 迷惑メールでドラッグ(隠語で「S」や「スピード」)や大麻の種(隠語で「クサ」「93」)を売りますなどと誘ってきます。～フィルタリングをかけてブロックをしましょう
- メールの本文中に記載された「URL」や「ここをクリック」の文字をクリックしないこと。～迷惑メールは開かずにすべて「削除」しましょう。



### ！密輸の片棒を担がないように

- 「運び屋」への誘いに乗らないようにしましょう  
覚醒剤等の薬物を航空機の手荷物に隠したり、身体に巻きつけたりして、日本国内に持ち込もうとする、いわゆる「運び屋」による密輸入が増えています。薬物犯罪組織は、知人の紹介、元同僚、先輩、後輩など様々な人間関係を利用し、あらゆる手段で「運び屋」になるよう誘いをかけてきます。「お金ほしさ」「借金返済」などの軽い気持ちで引き受けると、重い代償(最高刑は無期懲役及び1千万円以下の罰金)が待っています。
- 不用意に他人から荷物を預からないようにしましょう  
他人から預かった荷物でも、自分が持っていれば、その中身に関して責任を負います。「知らなかった」「わからなかった」は通用しません。密輸が発覚して捕まった場合、国によっては死刑を含め、重罰に処せられる例も少なくありません。

# 薬物乱用のきざし ~家族から見た薬物依存症者の行動~

## ！ 身体面

- 食欲がなく、やせて顔色がよくない
- 皮膚につやがない
- 唇をよくなめ、つばを吐く
- 目がぎらついた感じがある
- 独自の汗臭さがある
- 服装が乱れている

## ！ 行動面

- 時間にルーズになり、約束の時間を平気で破る
- 同じことを繰り返す
- 覚醒剤が切れると、あきっぽくなる
- 攻撃的な言動をしたり、感情の起伏が激しくなる
- 落ち着きがなくなる
- 生活パターンが夜型になり、寝なくなる
- 多弁になる
- 金遣いが荒くなる

## ！ 環境面

- 部屋が散らかっている
- 2~3センチの短いストローが捨てられている
- 小型のチャック付きビニール袋が捨てられている
- アルミホイルが捨てられている
- 注射器が捨てられている
- ガスライターや吸引具がある



※但し、全ての人にあてはまるものではありません。

## 後悔の手記

覚醒剤乱用者(30歳代、女性)

悪魔の誘惑は、すぐ近くにありました。仕事で知り合った人に腕を出してと言われ、「痛い」と思った瞬間、快感が全身を走りました。その日から365日、毎日覚醒剤を打ち続け、私は悪魔の虜とりこになってしまいました。「簡単にやめられる」「私は他の人と違う」そう思って使い続けました。しかし、覚醒剤をやめようとすると体に異変が……暴力、パニック障害、うつ病、……覚醒剤依存症になってしまいました。

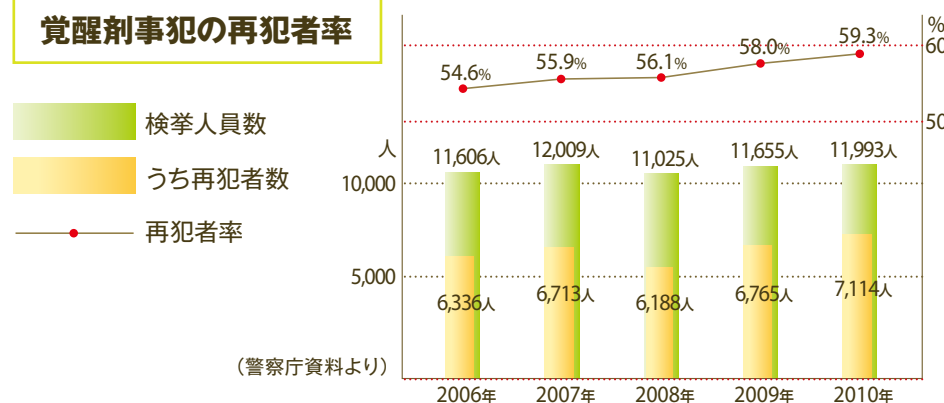
親の薦めで精神病院に入り、隔離病棟にいられました。正直言って覚醒剤を甘くみていました。

覚醒剤をやめた今でも、フラッシュバック、幻覚、幻聴……に悩まされます。

私の経験からひとつだけ言えることがあります。覚醒剤や薬物に1回でも手を出してしまったら、

人生が大きく変わってしまいます。失った時間やものは決して取り戻せません。(警察庁発行「DRUG2011」より)

### 覚醒剤事犯の再犯者率



# 薬物乱用のリスクと脱出・回復への道～若者への呼びかけ

(協力:独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター)

薬物の乱用は若者の人生を大きく狂わせます。最近では、睡眠剤や麻酔薬を医薬品本来の目的から逸脱して使用し、依存症になるケースが多くなっています。また、10代のうちから度を越した飲酒や喫煙をする若者も多く、それが薬物乱用の大きな下地となっています。

## ！ 薬物乱用のリスクが低くなるケース

- 家族の絆が強い
- 学校の課内・課外活動に参加している
- ルール違反に不寛容である
- 地域によい相談先がある

## ！ 薬物乱用のリスクが高くなるケース

- 親がアルコール依存症に罹患していて未治療である
- 悩みがあっても家族に相談できない、相談しにくい状況にある
- 学校生活がつまらない、達成感がない、不登校になっているなどの問題がある
- 友達からの仲間はすれ、いじめにあっている

## ！ 脱出・回復への道

- 本人と家族が精神保健福祉センターや保健所に相談に行く
- 依存症の専門医療機関に受診する
- 薬物依存に理解のある家族や友人がおり、治療に理解が得られる
- 回復した先の将来に夢や希望が持てる状況である



## ◆ 防犯川柳 ◆ 第7回読売防犯川柳コンテスト上位入選作品 (敬称略)

<p>◆ 特別賞(読売新聞東京本社販売担当賞)</p> <p>被害者も加害者も減る親の愛</p> <p>東京都 宇引 章</p>	<p>◆ 特別賞(全日本川柳協会賞)</p> <p>泥棒はパソコンからもやって来る</p> <p>東京都 酒井具視</p>	<p>◆ 天賞</p> <p>ひったくり撃退法は襷掛け</p> <p>大阪府 杉村 一日出</p>	<p>◆ 天賞</p> <p>聞こえないふりでオレオレあきらめる</p> <p>東京都 前澤 孝信</p>	<p>◆ 天賞</p> <p>泥棒は全ての窓が出入り口</p> <p>長野県 安藤 一明</p>	<p>◆ 天賞</p> <p>三面に明日は我が身の危機管理</p> <p>静岡県 勝原 猛史</p>	<p>◆ 天賞</p> <p>善意さえ食い物にする募金詐欺</p> <p>長崎県 三坂 奈美子</p>	<p>◆ 優秀賞(全国読売防犯協力会副会長賞)</p> <p>泣き寝入り相手は明日もやってくる</p> <p>山口県 白井 正春</p>	<p>◆ 優秀賞(全国読売防犯協力会副会長賞)</p> <p>ネットでは嘘も真も同じ色</p> <p>大阪府 宮崎 英明</p>	<p>◆ 最優秀賞(全国読売防犯協力会会長賞)</p> <p>ひと声が老いと孤独に灯をともし</p> <p>山梨県 沢登 清一郎</p>
--	---	---	---	--	--	---	--	--	--

選者・竹本 弘太郎 (社団法人全日本川柳協会理事長)

「安全・安心の街に」Y読売センターは地域の防犯活動を推進しています

<p>こども110番</p> <p>● YCは「こども110番の家」に登録しています</p>	<p>不審者注意</p> <p>● 配達・集金の際、不審者に注意します</p>	<p>防犯情報発信</p> <p>● 警察署の協力を得て防犯チラシ等を配布します</p>	<p>防犯パトロール</p> <p>● 配達・集金とは別に町内を巡回しています</p>
--	---	--	---